

## 9月の栽培管理について

9月2日に大阪管区气象台より1か月予報は、平均気温は、高い確率50%の旨の発表でした。また、台風14号が17日夜から18日にかけて接近する予報が出ています。天候が不順なことから低温と湿度の高い状況が続いております。

ほ場巡回では、特に白絹病、軟腐病と合わせて疫病が多く確認されておりこのような気象条件下では病気の拡散が心配され特に注意が必要です。併せて、台風通過後、排水対策もしっかり行ってください。

また、これからは気温も低くなっていることから、今後は害虫の発生が心配されます。特に、ハモグリバエ類やアザミウマ類の被害が各ほ場で多く確認されました。

今後、葱の生育適期を迎え、生育スピードが一気に早くなります。しっかりと生育させるために、土寄せ作業+適期追肥と早目の病害虫防除を行いましょう。

なお、追肥により窒素成分を多く施用することから今後はさび病の発生にもご注意ください。

### <注意する主な病害虫>

病気：軟腐病、白絹病、疫病、べと病、さび病

虫：アザミウマ類、ハモグリバエ類、ヨトウムシ類

### <今月の防除例>

- ① スターナ水和剤、カスミンボルドー（軟腐病）
- ② アフェットフロアブル、カナメフロアブル（白絹病、さび病）
- ③ スタークル顆粒水溶剤（アザミウマ類等）+バイオキパー水和剤（軟腐病）  
↓※バイオキパー水和剤（予防剤）使用についてはJA等にお問い合わせください。
- ④ or ベネビアOD（ヨトウムシ類、ハモグリバエ類等）※発生状況に応じて
- ⑤ アミスター20フロアブル（さび病）  
※発病状況に応じて アリエッティ水和剤、（疫病）

<別紙>

<主な農薬一覧>

適用病害虫雑草名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
さび病	ヨネポン水和剤	収穫7日前まで	500倍	4回以内	殺菌(予防)
さび病	ダコニール1000	収穫14日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(予防)
さび病	ジマンダイセン水和剤	収穫14日前まで	600倍	3回以内	殺菌(予防)
さび病	ラリー水和剤	収穫7日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
さび病	ペルクート水和剤	収穫30日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
さび病	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	2000倍	4回以内	殺菌(治療)
さび病	アミスターオプティフロア	収穫14日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)
さび病	アフエットフロアブル	収穫前日まで	2000倍	2回以内	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
軟腐病	オリゼメート粒剤	土寄せ時 収穫30日前まで	6kg/10a	2回以内	殺菌(予防)
軟腐病	ヨネポン水和剤	収穫7日前まで	500倍	4回以内	殺菌(予防)
軟腐病	カスミンボルドー	収穫14日前まで	1000倍	2回以内	殺菌(治療)
軟腐病	スターナ水和剤	収穫7日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
軟腐病	バリダシン液剤5	収穫21日前まで	500倍	1回	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
白絹病	モンガリット粒剤	土寄せ時 但し、収穫14日前まで	4~6kg/10a	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	モンカット粒剤	土寄せ時 但し、収穫30日前まで	4~6kg/10a	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	モンカットフロアブル40	土寄せ時 但し、収穫30日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	ロプラール水和剤	収穫14日前まで	500~1000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	リゾレックス水和剤	土寄せ時 但し、収穫14日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	アフエットフロアブル	生育期 但し、収穫14日前まで	1000~2000倍	2回以内	殺菌(治療)

適用病害虫雑草名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
アザミウマ類 <small>注5</small>	スタークル顆粒水溶剤	収穫3日前まで	2000倍	2回以内	殺虫

ベネビアOD

作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	散布液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
ねぎ	アザミウマ類	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布
ねぎ	シロイチモジ ヨトウ	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布
ねぎ	ハモグリバエ類	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布

注1: 他の野菜で疫病の登録があるもの

農業登録: 平成30年 8月 23日現在

注2: 農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器のラベルに従ってください。

注3: 高温時の散布は薬害が危惧されるため避けてください。

注4: 発病の状況に応じて、農薬は変更してください。

注5: ハモグリバエ類の登録あり。

